

2020年度

第46回 北海道指定図書

●北海道の先生がおすすめる本を読んで、読書感想文を書こう！

北海道学校図書館協会

小学校低学年

選定部によるコメント
メーカーによるコメント
ISBNコード

<p>『きょうりゅうのサン いまぼくはここにいる』</p> <p>かさい まり/文 星野 イクミ/絵</p> <p>アリス館 1,500円+税</p>		<p>「なきむしで、こわがり」の恐竜 サン。時空を超えても引き継がれていく命に、心が温くなる物語。 恐竜のサンは、ティラノサウルスに追いかけて海の中へ。そして何万年何千万年もたった。 北海道むかわ町穂別で見つかった「むかわ竜」をモデルにした絵本。</p> <p>978-4-7520-0888-0</p>
<p>『とんでいったふうせんは』</p> <p>ジェシー・オリベロス /文 ダナ・ウルエコッテ/絵 落合 恵子/訳</p> <p>絵本塾出版 1,500円+税</p>		<p>おじいちゃんも僕もみんな風船を持っていた。風船には思い出がつまみついていて、風船を見つめるたびに、大切な思い出がよみがえります。だけど、おじいちゃんは、どんどん風船を飛ばしています。その時、僕は、飛んでいった風船を・・・。</p> <p>「この銀色の風船はとりわけお気に入りのやつさ」おじいちゃんはいつものようにぼくの髪の中に指を突っ込んででもじゃもじゃくしゃくしゃにした。「僕だってお気に入りだよ」僕は答えた。でも・・・。</p> <p>978-4-86484-152-8</p>
<p>『おおゆき』</p> <p>最上 一平/作 加藤 休ミ/絵</p> <p>鈴木出版 1,400円+税</p>		<p>大晦日の朝早く、トイレを借りに女の子がやってきました。外を見れば1000台もの大渋滞！「こりゃなんぎしているべえ」と、村の人も総出で手助けを始めます。</p> <p>ゆうきとだいきは雪国に住んでいます。今年もたくさんの雪が降り、毎日雪おろしのお手伝い。大みそかの日の明け方、ドアをたたき音におじいさんが出てみると・・・。</p> <p>978-4-7902-5389-1</p>
<p>『キリンのあかちゃんが うまれた日』</p> <p>志茂田 景樹/文 木島 誠悟/絵</p> <p>ポプラ社 1,500円+税</p>		<p>北の動物園のキリンに待望の赤ちゃんができました。生まれてくるまでの日々を、お父さんキリンのスカイの目線で描いた絵本。釧路市動物園がモデル。</p> <p>もうすぐお産を迎えるメスのキリン。それを見守るしかできず、不安と期待で胸いっぱいのお父さんのキリンの視点で描いた絵本。</p> <p>978-4-591-16314-6</p>

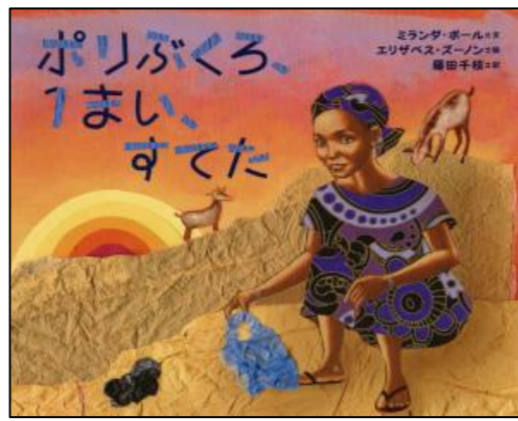
小学校中学年

<p>『北国からの動物記 クマゲラ』</p> <p>竹田津 実/文・写真</p> <p>アリス館 1,400円+税</p>		<p>北海道に生息するクマゲラの春から冬までの生活を、多くの写真と漢字にはルビつきの文で詳しく伝える本。 アイヌの神であるクマゲラ。少しずつ変化しながら続いていく森の営みを追う。</p> <p>シリーズ「北国からの動物記」9巻目</p> <p>978-4-7520-0876-7</p>
<p>『手と手をぎゅっとなぎったら』</p> <p>横田 明子/作 くすはら 順子/絵</p> <p>佼成出版社 1,300円+税</p>		<p>虹川小学校の四年生と栗の木特別支援学校で交流授業をすることになった。初めて訪れた特別支援学校はおどろきの連続で・・・普通って？を考える物語。</p> <p>特別支援学校って、いったいどんな学校で、どんな子たちが通っているんだろう……。知的障害をもつ子たちのクラスと交流授業をすることになった僕。</p> <p>ふれ合いを重ねる中で育んだ「心のバリアフリー」を描く。</p> <p>978-4-333-02806-1</p>

『ポリぶくろ、1まい、すてた』

ミランダ・ポール/文
エリザベス・ズーノン/絵
藤田 千枝/訳

さ・え・ら書房 1,500円+税



便利で使いやすいポリ袋。たくさん捨てられると、たくさんのゴミになる。ガンビアの女性アイサトは、そんな状況を自分たちで何とかしようと仲間と共に立ち上がる。

プラスチックバグー—日本でいうポリ袋のゴミが、世界中で問題になっています。ポリ袋は便利で使い易いけれど、たくさん捨てられて、たくさんのゴミになっています。このゴミは病気の元になることがあります。このゴミを食べた動物や魚が、たくさん死んでいます。

アフリカのガンビアという国に、アイサトという女の人がいました。アイサトは自分達で何とかしようと、仲間達と一緒に立ち上がりました。これからも、きれいな村で暮らしていけるように—。

978-4-378-04147-6

小学校高学年

『読む喜びをすべての人に 日本点字図書館を創った 本間一夫』

金治 直美/文

佼成出版社 1,500円+税



日本点字図書館を初めて創った本間一夫氏の、そこに至るまでの道のり、人生観を著したもの。北海道増毛出身の一夫少年が周りの人に慈しみ深く育てられ、愛情を「夢を実現する力」に晶華していく様に励まされる。

大正四年に生まれ、わずか五歳で失明した本間一夫氏。後に点字と出会い、「目が不自由でも読書を楽しめるようにしたい」と、日本初の点字図書館の創設に奮闘したその生涯を描く。

点字に関するコラムや学習ページも充実。「読書バリアフリーとは何か」を考える上でも必読の書。

978-4-333-02812-2

『いつか、太陽の船』

村中 李衣/作
こしだミカ・根室の子ども達/絵

新日本出版社 1,500円+税



気仙沼に住んでいた海翔一家は、震災で根室へやってくる。愛犬を失い心に傷を負った海翔と、気仙沼で再び造船業を営なもうとする父。家族の再生物語。

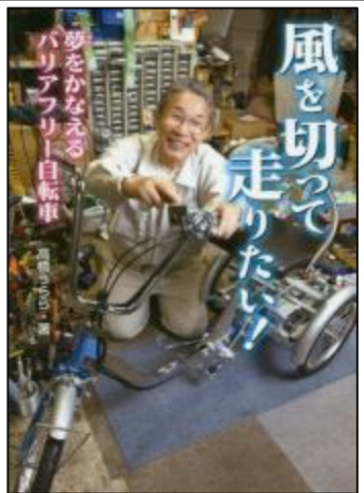
宮城県・気仙沼で大地震にあった海翔は、家族みんなで北海道・根室に移住した。根室は漁港、サンマの街だ。造船業を営む両親は、出会った人びとに支えられ、ここ根室で再出発をはたした。津波の記憶は今も海翔を苦しめる。別れ別れになった友だち、近所のおばさん。そして、海翔の腕から飛び出し走り去ってしまったスパナ—。

978-4-406-06337-1

『風を切って走りたい！ 夢をかなえるバリアフリー自転車』

高橋 うらら/著

金の星社 1,400円+税



小さな頃から物作りが大好きな堀田健一さん。

息子のために三輪車を作ったことをきっかけに体の不自由な人でも乗ることができる自転車作りをスタートさせます。

四十年で2600台ものオンリーワン自転車を作り続ける感動ノンフィクション。

「自転車に乗りたい！」願いをかなえる。体の不自由な人のために、一人一人の体に合わせた自転車を作り続けてきた堀田健一さん。

逆境や苦難にも負けない姿を描いた渾身のノンフィクション！

978-4-323-06096-5

中学校

『恐竜まみれ 発掘現場は今日も命がけ』

小林 快次/著

新潮社 1,450円+税



福井県生まれのアンモナイト少年だった小林氏は、長じて恐竜学者になり、北海道大学へ転職。

むかわ竜をはじめ世界をまたにかけて発掘・研究を続けている。

未知の恐竜化石を求め、1年の3分の1は発掘調査へ。

ゴビ砂漠の灼熱、予知不可能の大濁流、「墜落しないよう祈れ」というアラスカのヘリを生き延びながら、歩きに歩く。

最終日の大発見に身震いし、恐竜界50年の謎に挑み、ついに日本初の「全身骨格」を掘り出した！

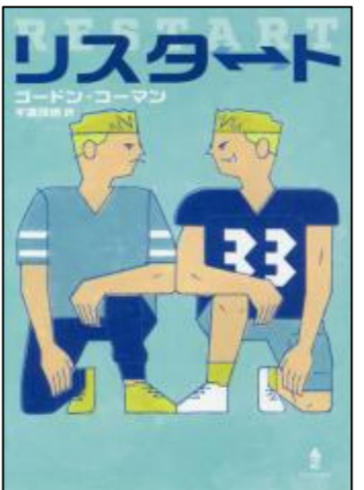
「ファルコン・アイ」「ダイナソー小林」の異名を持つ学者のスリリングな発掘記。

978-4-10-352591-2

『リスタート』

ゴードン・コーマン/著
千葉 茂樹/訳

あすなろ書房 1,600円+税



屋根から落ちて、記憶喪失になった13歳のチェースは、自分がアメフトのスター選手で、とんでもないワルだったらしいと知る。

ある日目覚めたら、自分が誰なのかわからない。名前もわからないし、鏡を見ても映っているのは知らない顔……。それが13歳の主人公チェースの身に起こったことでした。(中略)

おそろおそろ新しい人生を歩みはじめたチェースの不安や戸惑い、苛立ち。もがき苦しむチェースに次々と襲いかかる事件。そして、少しずつ甦る記憶。はたして、唯一残っていた記憶の青いドレスの少女は…。

(訳者あとがきより)

978-4-7515-2939-3